

## (仮称)埋蔵文化財調査研究センターに

### 「(仮称)生物多様性・里山環境学習館」併設検討を求める陳情

#### 【願意】

旧金杉台中学校跡地活用予定となっている(仮称)埋蔵文化財調査研究センター内に「(仮称)生物多様性・里山環境学習館」設置に向けた検討をして頂くことを陳情致します。

#### 【理由】

##### ●必要性について

私たちは、船橋市内のヘイケボタル生息調査活動や、県立船橋芝山高校などの協力のもと、人工飼育したヘイケボタル幼虫を坪井近隣公園などに放流する活動をおこないながら、環境フェア・市民活動フェアなどでホタルの啓発活動を行っています。しかしながら、ヘイケボタル生息確認数が減少している生息地が多く、数ヶ所はいつ消滅してもおかしくない状況に危機感を抱いています。こうした状況から、自然環境に関する様々なことを学び、未来の子どもたちの為にも生物多様性に関する取り組みを更に促進させなければならないと強く感じています。

##### ●設置場所について

旧金杉台中学校周辺は滝不動風致地区に定められ、地元住民やボランティア団体などによる整備により、海老川に続く北谷津川・金杉川や周辺にはホタルを含め今でも多様な昆虫や植物が生息できる環境

が残っています。市でも「金杉川や北谷津川上流付近の金杉緑地近辺は、本市における生物の生息拠点としてポテンシャルの高いエリアと認識しており、市内のエコロジカル・ネットワークの重要な拠点の1つとなる」と位置づけていること、旧金杉台中学校の有効活用、埋蔵文化財調査研究センターとの併設による相乗効果、子どもを含めた市民交流の創出が期待できることから、旧金杉台中学校が設置場所として適地だと考えます。

船橋市には、海があり里山があります。以前環境政策課に同様の要望を提出した際には「三番瀬環境学習館が里山学習館の役割を果たしている」とのことでしたが、三番瀬環境学習館は目の前にいる海の生き物を学ぶ学習拠点であり、やはり昆虫や植物を学ぶ拠点とは異なると考えます。三番瀬環境学習館ができた当時、船橋の内陸部の里山から湧き出た水が田を潤し、流れ下って三番瀬に流れ込み、豊かな生物相の汽水域を形成し、そこに里海の漁業が成立しており、豊かな三番瀬は、集水域である船橋の里山の豊かさが背景にあることを伝えたく、有志により「ホタル生態水槽」を設置していた時期がありましたが、いつの間にか無くなってしまいました。

海老川上流地区区画整理事業により周辺開発が広がってきており、近い将来、北谷津川上流に向けて宅地開発が進んでくることを危惧しています。旧金杉台中学校周辺を、市街地に近く多様な自然に触れられる貴重な場所として守り、未来の船橋の子ども達のために今ある自然を残していくために、地域の身近な昆虫や植物を主体とした(仮称)生物多様性・里山環境学習館の併設を旧金杉台中学校に設置することを検討して頂きたいです。

参考資料：市川市立自然博物館 [自然博物館 | 市川市公式 Web サイト \(ichikawa.lg.jp\)](http://ichikawa.lg.jp)

運営：市川市教育委員会 - 生涯学習部 - 教育総務課 - 考古博物館 - 自然博物館